

# こすど地区公民館報

発行  
新潟市小須戸地区公民館  
〒956-0101  
新潟県新潟市小須戸117番地  
TEL 0250-38-2234  
FAX 0250-38-5210  
編集・公民館編集委員会

## 小須戸の人材頑張ってます

### ～次代のホープと団塊の星～



ユニフォーム姿の横山選手



「楽しく、元気に頑張ろう！」団員一同、横山選手と…

今回は地元から外に向けて活躍の幅を広げようとしている若者と団塊の世代にスポットを当ててみた。

### 特別なお楽しみ会 (横山龍之介さん)

プロ野球高校生ドラフトで、阪神へ入団した、横山龍之介投手。(日本文理三年)

小学校時代に在籍していた小須戸野球スポーツ少年団に招かれ、楽しく団員の子供達と交流をもった、ひと時を取材した。

去る一月六日の午前中、恒例の野球スポーツ少年団の新年お楽しみ会が開催された。今年度は横山選手との交流会を兼ねた行事として行われた。父母の会が作った横山選手への激励の横断幕や豚汁等、準備万端。

会場に本人が姿を現わすと小須戸第二体育館は緊張感と熱気に包まれた。

プロ野球選手を目の当たりにすると三十名余りの少年少女団員は純粋に目を輝かせた。

プロ野球グッズが全員に当たるビンゴ大会では、横山選手がガラポンを回し、数字を読み上げる度に子供達は一喜一憂。餅つきなどもあり、横山選手もふれあいを大いに楽しんだ。

最後は団員一人ひとりが、メッセージを添えた花束を渡し横山選手からはサイン入りボールをお互いに交換した。

これからプロの厳しい世界に旅立つ横山選手に少年団の子供達や父母の会から温かく送り出してもらい、プロ選手としての決意を新たに感じたことだろう。

●横山選手インタビュー  
「プロ入り一年目を迎えましたが、どのような変化がありましたか。」

「プロということ周りで注目され、取材がたくさん入るようになりました。忙しいですね。」

「今年の目標を教えてください。」

「しっかり体づくりをしてケガをしない体をつくることです。」

「地元の子供達と接しての感想を。」

「どんなことでも、目標をもってやるのが大事だと思います。少しづつ目標をもってやっていけば上達につながると思います。」

### 「旨い肴で一杯」

食卓に並んだ料理は感謝していただく。他に食べたい物は自分で作る我が家の掟である。

酒好きの私にとって「旨い肴で一杯」なんて時は、当然自分で包丁片手に大奮闘。女房が作ってくれた逸品とお袋の味を思い出しては、一品、又一品。馴染みの店では、旨いと思っ



一本鎧 直栄さん (新保)

た逸品は、レシビをもらって帰り休日に実践！女房に教わったり一度食した物は、大抵作れるようになります。残念ながら子供の批評は、「旨い肴で一杯」腕ふるうのも楽しみである。

かれては、レシビをもらって帰り休日に実践！女房に教わったり一度食した物は、大抵作れるようになります。残念ながら子供の批評は、

### 全国大会で発表

(白井龍之介さん)

団塊の世代であり、公民館活動を支え盛り上げて下さっている白井龍之介さん。(活き生きクラブ代表・小須戸) 受身の姿勢ではなく積極的に地元市民に生涯学習の楽しさを広めている。

先般、日頃行っている公民館での活動成果を自主的に、操体の全国大会(沖縄県)で発表した。

この数値にいち早く危機感をもった浦添市が、操体法の権威である須永隆夫先生の



映像を交えて、熱弁をふるう白井さん

### 町部と山の手を結ぶ街並み

短期掲載コラム

たがいに新潟、とすこい小須戸 (最終回)

新潟五区エリアにおける「合併を活かした将来展望」のアイデアを三回シリーズで紹介しています。今回は、その最終回です。

阿達秀昭さん(矢代田在住、新潟日報整理部長)の講演より。

政令市合併三カ年計画により、矢代田駅を中心に整備が進められています。

私は学生時代、小須戸中学校に通っていましたが、どうしてこの間(町部と山の手を結ぶ県道沿い)は一面田んぼが広がるだけで、距離が長いという印象がぬくえませんでした。帰りの時間になると、暗いし、なんとかして町並み



矢代田から小須戸に向かって

これから何十年掛かるかわかりませんが、新保と矢代田がつながり、矢代田駅西口と403号線と交差するあたりを、それこそ花と緑あふれる一帯にすれば、歩きたい、住んでみたいステキな街になるのではないかと考えています。(あとかき)

四月一日に新潟市が政令市になるまで、あと一カ月半となりました。この連載コラムが将来の理想的な地域づくりを考えた時に他人事ではなく、自らが意識を高めたなり、明るい展望へのヒントになるようなことがあれば幸いです。

最後に阿達秀昭さんに、厚くお礼申し上げます。

### 就職前の若者、必見!! ～香山リカ、就職活動を語る～

12月に行われた香山リカ講演会の直前に、公民館内で専門記者による取材が行われ、小冊子が発行されました。内容は、就職を控えた若者向けの情報誌(フリーペーパー)です。欲しい方は公民館に45冊程ありますので直接もらいに来てください。【無料】1人1冊まで 発行・新潟日報社



# 食べないで下さいね

## こんなのが増えてます

春の楽しみの一つに、野草摘みがありますが、間違っても今紹介する野草は食べないように注意して下さい。

最近、小須戸地区内に「洋種カラシ菜」というアブラ菜科の野草(現在草丈30cm、葉は直径2〜3cm)が、ものすごく増えていきます。

この洋種カラシ菜を普通に野草として食べた場合、有毒ではないが、お腹がチリチリする位、強い辛味があります。またカラシ菜をいじったりしているとき出てくる汁(辛味の成分)を目や皮膚の弱いところをこすったりすると、ただれたり等の影響もあります。自然観察指導員の小池忠一さん(松ヶ丘)によれば、この野草は「一般的に土木工事の度ごとに生息地が広がってきている」とのこと。しかしながら、この洋種カラシ菜を展示します。



「取材協力」小池忠一氏(松ヶ丘) 県道白根・安田線JR踏切り周辺でも発見!!

# 「県ジュニア展」入選おめでとう(1)

## ～感性キラリ、個性豊かに～



**優秀賞**  
小学校2年生の部  
「たたかうザリガニ」  
佐藤 友一さん  
(松ヶ丘)  
矢代田小学校2年

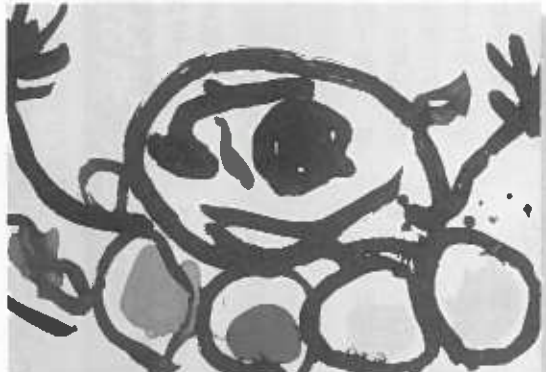
紙を切ってかさねて、強そうなザリガニを作るのがむずかしかったです。

### 奨励賞

幼稚園・保育園の部



「ぼくのおとうさん」  
佐藤 豪さん  
(舟戸)  
小須戸幼稚園 3歳



ぼくのおとうさんが、ごはんを食べているところです。



**奨励賞**  
小学校1年生の部  
「くじらぐもと緒に  
ダンスーランドに行ったよ」  
鎌田 舞さん  
(松ヶ丘)  
矢代田小学校1年

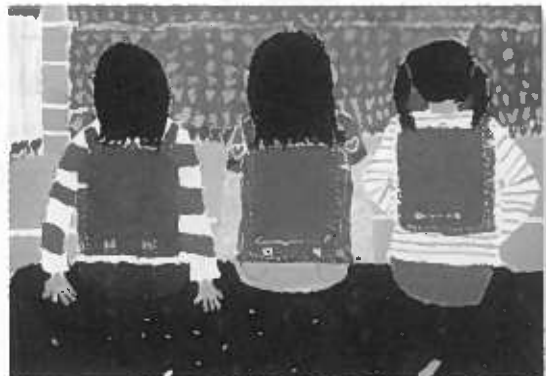
えの中のみながたのしそうにしているところをかきました。

### 奨励賞

小学校6年生の部



「道草は、もう終しまい。」  
小林 花代さん  
(鷗出古木)  
小須戸小学校6年



「この場所で、6年間道草したなあ。」と思いながら描きました。

## 催し物ご案内

### 小須戸中学校吹奏楽部

♪ スプリングコンサート  
「せ、おいてください!!」  
日時 三月十八日(日)  
午前十時〜十一時  
場所 小須戸中学校(体育館)  
曲目 バイレーン・オプカリ・アン・カルメンより(ハバネラ)  
・学園天国 他

### 地域の伝統を残そう

「しのぶ細工講習会」  
古来から夏の風物詩として家の軒先などに飾られ涼しげな葉が清涼感を呼ぶ「しのぶ細工」を作ってみましょう。  
日時 二月廿五日(土)廿六日(日) 午後七時半〜九時十五分  
会場 地区公民館(サークル室)  
対象 どなたでも(定員五十名)  
講師 田中栄作さん(ワテコキ) 助手 田中キイさん(ワテコキ) 助手 五十嵐スエさん(ワテコキ)  
参加費 一回五百円(諸材料費) 持ち物 普通のハサミ  
申込み 二月末までに公民館へ ☎三八一―二二三四  
※単発の参加も、できます。

## おはなしのせかいへ

日時 三月十七日(土)午前十時半から  
会場 ふれあい会館  
対象 幼児から大人まで  
読み手 おはなしほけつと

### 小須戸地区サッカー講習会

個人でも楽しめる、ミニサッカーを体験しませんか。若男女を問わず楽しめます。  
主催 小須戸サッカー協会  
日時 三月十一日(日)  
午前九時二十分 受付  
会場 小須戸体育館  
内容 ミニサッカー講習会と交流会  
①家族の部 小学生又は幼児と大人  
②女性の部  
③混合の部 女性2〜3人を含む  
④大人の部 中学生以上で  
対象 個人でも家族でも、どうぞ持ち物 内履シューズ・運動のできる服装・昼食  
参加費 無料。レクリエーション保険に加入。(サッカー協会が負担)

## 六十五歳、全国大会で入賞

### 両国国技館に美声響く

昨年十月、東京両国国技館で行われた民謡舞全国大会(主催・日本民謡協会)に、高山猛さん(矢代田)が、新潟県代表として出場しました。  
結果は、佐渡の相川音頭を唄い、みごと全国大会第六位の栄冠を獲得されました。本大会は、北は北海道から南は沖縄、ブラジルからも出場する日本最大の民謡コンクールでした。  
高山さんは「民謡が好きで、健康を兼ねて毎日唄っていたお陰です」と受賞の喜びを話してくれました。



高山 猛さん(矢代田)  
矢代田民謡愛好会所属

## 教育事務所からのお知らせ

小須戸地区で毎年二月下旬に行っており、また、生涯学習事業「活き生きフェスティバル」は、今回お休みすることになりましたのでお知らせいたします。  
小須戸教育事務所 教育課社会教育係  
☎〇二五〇―三八一―二二二(内線二六八)

## シリーズ 「今、子どもたちは」 (125)

### 伝承遊び

### 矢代田ひまわりクラブ

この時期、室内ではカルタ取りやすごろく、コマ回しなど昔ながらの遊びが人気です。中でも子ども達と一枚一枚手作りの大型カルタでは読み札を最後まで言い終わらないうちにみんな一斉に「ダッシュ」のしし年だよ、今年は一枚の札に五、六人がおおいかぶさり誰が先かで「最初はグー、ジャンケンポン」と元気のいい声が響きます。投げゴマはまだ数人しか投げられず、うまく回せない一年生に三年生の女の子がヒモを巻いてあげながら「投げる時にね、軽く引くんよ」と優しく教えてくれる姿に心が温まります。



みんなで作ったカルタ。楽しいヨ!!

年齢が同じ時間、同じ場所で過ごす、ひまわりクラブ。日々小さなトラブルは起きますが、こうした遊びを通して上級生が下級生を思いやり下級生が年上の人を敬う心を育ててくれたらと願っています。

## 文芸欄

句	俳	歌	短
生かされて生きて耐えを寒椿 冬帽のペレーをかぶる父百寿 コンサート終りし後のカニ雑炊 掛軸の富士と過ぎしぬ松の内 白鳥の毅然とした見張りかな 回ること止めし秒針寒の部屋 居ながら七草の味しかと受け 三千院詣のあとの温め酒 耳鳴りも気楽となりし後半の冬	問野 良遊 馬場 綾子 須藤恵美子 長井 武雄 藤井 春 関根 紀男 東樹 ちよ 井本マツ子 風間 幸子	雪の間の陽差しの中にあかあかと 南天の実はゆれて輝よう 居所不明の付箋つけられ戻り来る 往復五日の賀状一枚	大森美恵子 坂井 隆思
柳(題：心) 忘れ傘心当たりへ電話する 顔の傷夕べ転んだ千鳥足 腹を立て妻お勝手を磨き上げ 故郷に心当たりの店がない	増井 都留 小林みのる 渡辺 信子 藤井 春江		